

教師 自己評価集計結果	H 3 0 平 均
① 教材教具や学習活動などを工夫して、児童が楽しく学べる授業に努めた。	3.1
② 挨拶・返事・姿勢・聴き方などの学習規律や学習習慣を身に付けさせた。	3.1
③ 導入で児童の関心意欲を高め、課題やめあてを明確にして授業を行った。	3.2
④ 自分の考えをもたせ、ペアやグループ、全体で話し合う場を設けた。	3.3
⑤ 終末で確認問題やキーワードを使ったまとめ、振り返りを行った。	3.1
⑥ 英語の授業を充実させ、主体的にコミュニケーションを図る能力を伸ばした。	3.3
⑦ 一人一人の実態把握に基づき、朝学習や授業で個に応じた指導を行った。	3.0
⑧「学習の手引き」の活用や宿題の工夫により、家庭学習を充実させた。	2.9
⑨ 朝読書や図書館の活用により、読書の習慣を身に付けさせた。	3.1
⑩ 児童会・学級活動を充実させ、自ら生活を高めようとする自主性を育てた。	2.9
⑪ 挨拶やよさ見つけの意識を高め、温かい人間関係を築いた。	3.1
⑫ 学級目標を意識させクラスの宝物を累積して、学級への所属感をもたせた。	3.2
⑬「いじめ0」「ぼかぼか言葉」「さん付け」を実行させ、人権意識を高めた。	3.3
⑭「中川小よい子のくらし」をもとに、規範意識を身に付けさせた。	3.1
⑮ 学校行事に向けた取組を充実させ、達成感や満足感を味わわせた。	3.2
⑯ 授業や集会で、服装を整え、時間を守ることを徹底させた。	3.1
⑰ 体育での運動量の確保、外遊びの奨励などにより体力向上を図った。	3.1
⑱ 歯磨き・うがい・手洗い・換気などの健康的な生活習慣を身に付けさせた。	3.1
⑲ 廊下歩行や休み時間の過ごし方など、ケガの防止に心がけさせた。	3.1
⑳ 忍者掃除、靴・スリッパ揃えを習慣化させ、美しい環境に整えさせた。	3.2
㉑ 児童のよさを見つけ積極的に褒めることで、やる気と自信をもたせた。	3.2
㉒ トラブルや問題行動、不登校に対して、迅速かつ連携した対応ができた。	3.2
㉓ 研修や英語の校内研究を通して、指導力を向上させることができた。	3.0
㉔ 学年会で指導の方向や分担など共通理解して、連携協力して指導ができた。	2.9
㉕ 三委員会・二部会で意見を出し合い、具体的な実践について検討できた。	2.9
㉖ 児童の様子を家庭に伝えるなどして、保護者との信頼関係を築いた。	3.1
㉗ 計画的に仕事を進め、SKDには早く帰宅するなどして健康管理ができた。	3.2